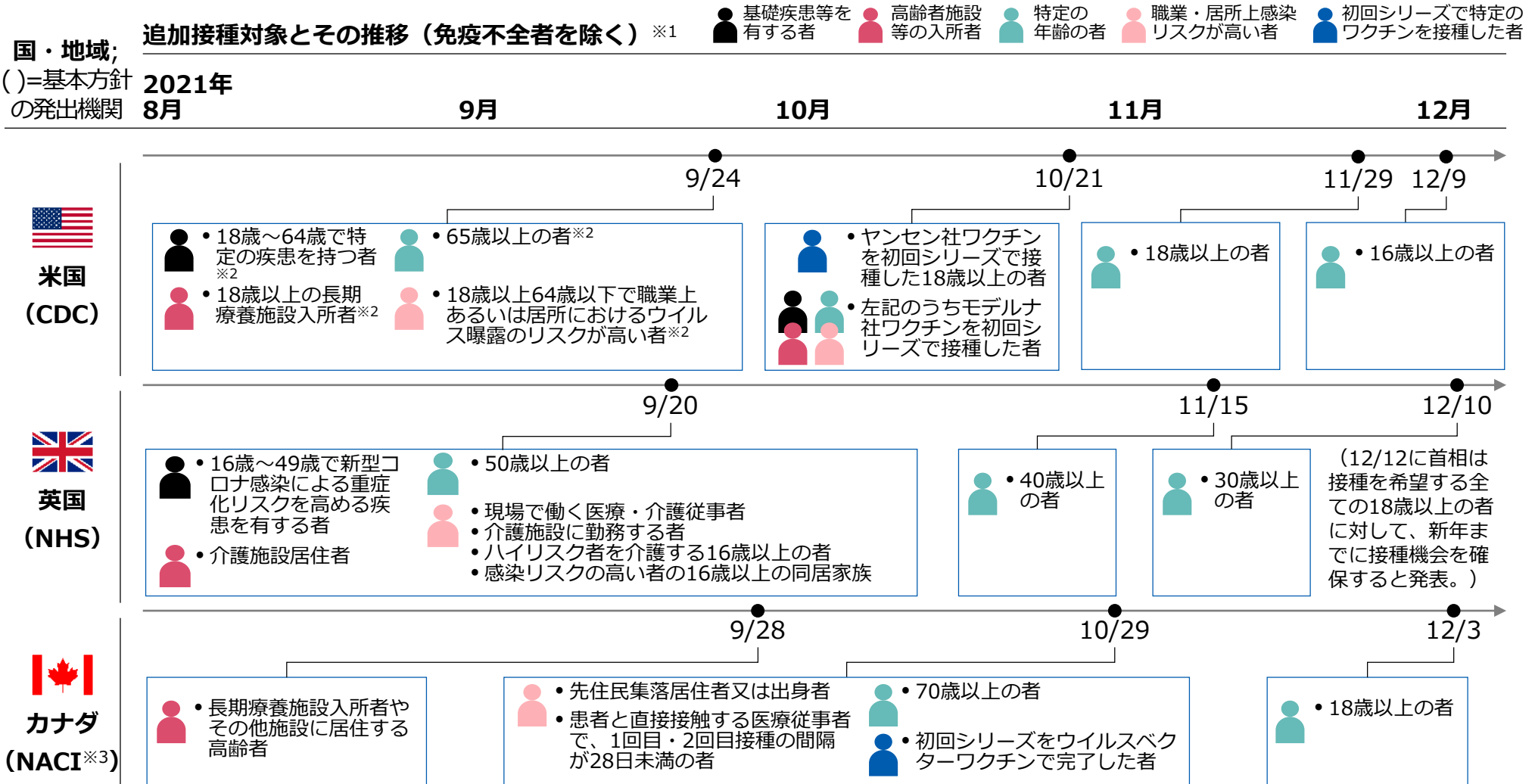


諸外国における新型コロナウイルスワクチンの追加接種の対象者について（1/3）

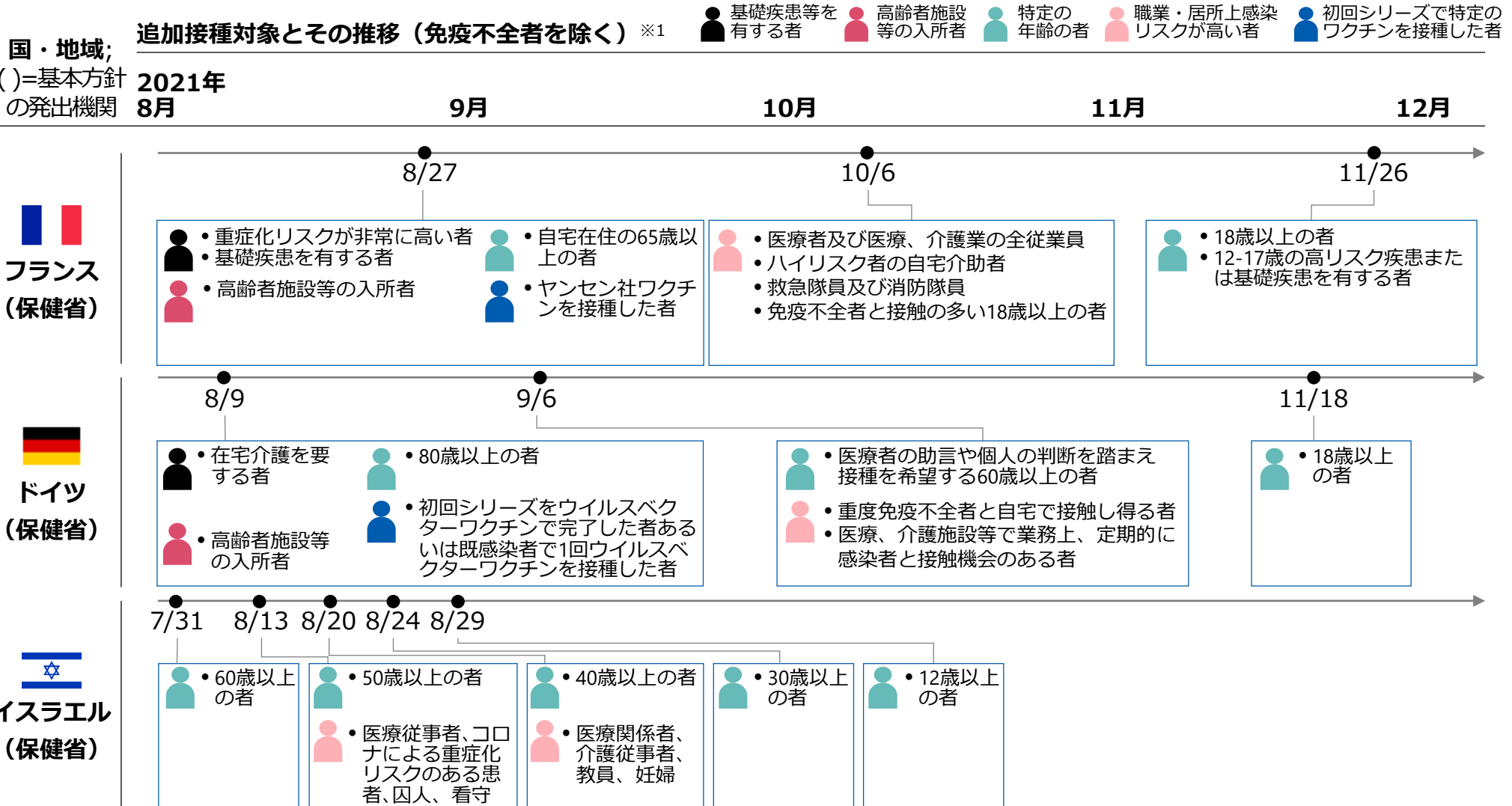
諸外国においては追加接種対象者を拡大する動きが見られる。



※1: 日付は声明・推奨の発表日 ※2: ファイザー社ワクチンを初回シリーズで接種した者に限る。 ※3: 保健省内にある諮問委員会（NACI）による推奨。

諸外国における新型コロナウイルスワクチンの追加接種の対象者について (2/3)

諸外国においては追加接種対象者を拡大する動きが見られる。

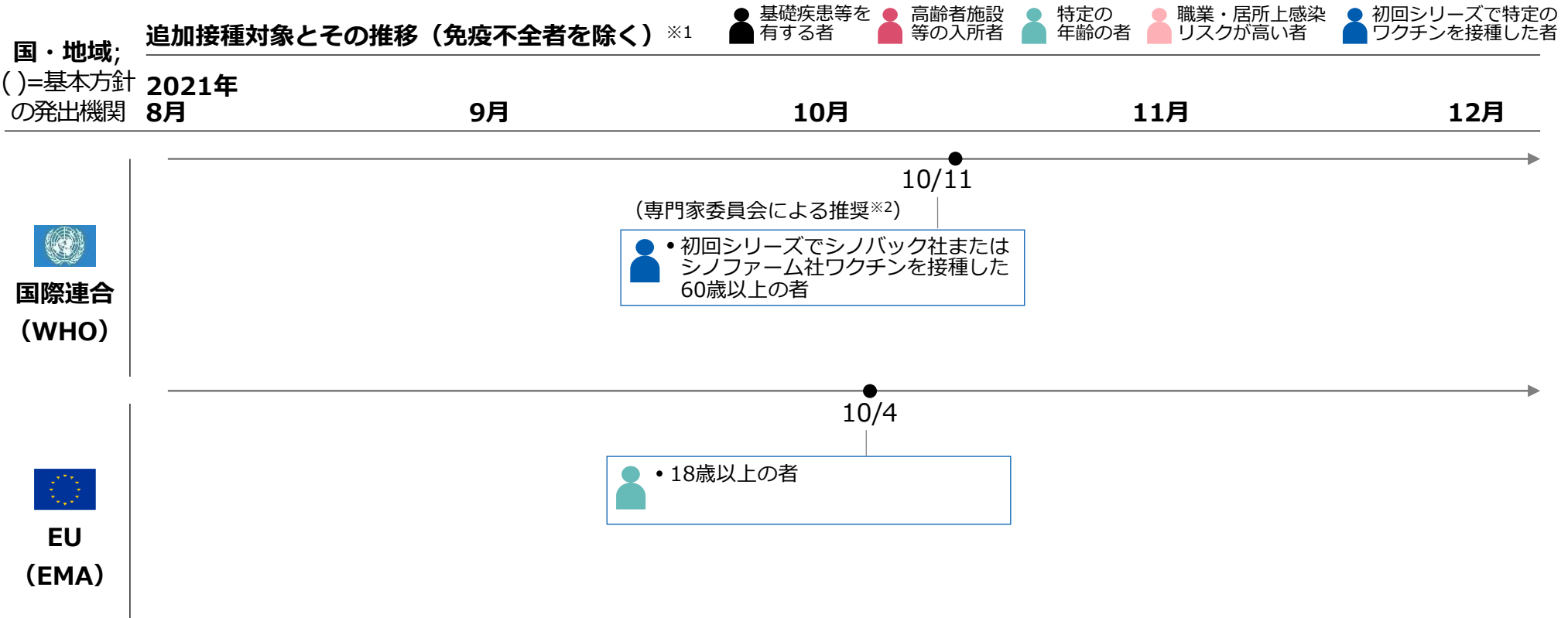


※1 日付は声明・推奨の発表日

SOURCE: フランス保健省, フランス保健省, フランス保健省, HHS, HHS, GMK, GMK, Reuters, ドイツ保健省, イスラエル保健省, イスラエル保健省, イスラエル保健省, イスラエル保健省, イスラエル保健省

諸外国における新型コロナウイルスの追加接種の対象者について（3/3）

EMAは10月に18歳以上の者に対する追加接種を承認する方針を打ち出した一方で、WHOは現時点では慎重な姿勢を変更していない。



※1 日付は声明・推奨の発表日

※2 強制力をもたないWHOの専門家委員会（SAGE）による推奨であり、実効力を持つにはWHO事務局長の承認が必要。12月8日現在、事務局長による声明は見られず、SAGEによる今後の検討方針についても声明はなし（11月19日に更新されたWHOのファイザー社、モデルナ社ワクチンに関する暫定推奨において、「非免疫不全者に対する追加接種（同種接種、交差接種、変異株対応ワクチン）の必要性和最適な接種タイミングは調査中」との記述のみ）。